山形県作業療法士会は広域的派遣のお手伝いをします!

現在、山形県内には、700名の作業療法士が、医療機関や介護施設、教育機関などで働いています。各市町村等で地域支援事業や認知症初期集中支援チーム等でぜひ作業療法士をご活用ください。

私たち山形県作業療法士会は皆さんと共に地域支援事業の推進をはかり、協力体制を作り上げたいと考えています。

広域的派遣の大まかな流れ

事務局へ連絡

対応する担当事務局に連絡ください。

↓

対応する作業療法士とマッチング

実際に施設外の派遣に応じることができるかどうかも含めて調整します。従って契約の内容について若干お聞きします。

↓

対応する作業療法士の紹介

対応する作業療法士と市町村の担当者が直接連絡を取り、事業の説明とその中での作業療法士の役割について打ち合わせを行います。

↓

作業療法士の所属する施設と契約

↓

事業の開始

お申し込みは担当者のメールアドレスへ!
(電話連絡の場合は不在の時があります)

担当事務局(窓口)					
村山地区	椿野幸子(つばきの さちこ)	勤務先	山形市立病院済生館 山形市七日町1-3-26	連絡先 023-634-7109(リハ室直通) メール yotchiikishien@hotmail.com
最上地区	三原裕子(みはら ゆうこ)	勤務先	介護老人保健施設新庄薬師園 新庄市金沢字西ノ山3027-4	連絡先 0233-23-8060 メール yakusi01@gamma.ocn.ne.jp
庄内地区	佐藤 浩(さとう こう)	勤務先	鶴岡協立リハビリテーション病院 鶴岡市上山添神明前38	連絡先 0235-78-7511 メール kou-satou@shonai-mcoop.jp
置賜地区	鈴木 光(すずき ひかる)	勤務先	小国町介護老人保健施設 温身の郷 西置賜郡小国町大字あけぼの1-1	連絡先 0238-61-1200 メール hikaruakis@yahoo.co.jp

Occupational Therapy

一般社団法人 山形県作業療法士会
事務局／山形済生病院 作業療法室
〒990-8545 山形市沖町79-1 TEL:023-682-1111 FAX:023-681-2775
E-mail:otyamagata@syd.odn.ne.jp

市町村地域支援事業に

作業療法士を活用ください

一般社団法人
山形県作業療法士会

地域支援事業や認知症初期集中支援チームに作業療法士がお役にたちます

リハビリテーション専門職種である私たち作業療法士は、様々な作業を通してその人らしく、その人の生きがいにつながるような、自立した生活をめざし、作業を提供します。人の生活は、作業=生活行為の連続から成り立っています。そこに焦点を当て、その人が困っている生活行為がなぜできないのか分析し、できるようになるにはどのようなことを行えばいいのか、私たち作業療法士がお手伝いします。(自立支援)

■ 作業療法士は生活行為そのものを分析し、その人が実現したいと思う生活行為の自立を支援します!

私たちの生活はさまざまな作業・生活行為の連続で成り立っています

- ご本人とその家族がめざす生活の目標を一緒に考えます。
- 身体機能の改善だけにとらわれず、自宅内での生活行為の向上や、社会に参加することも含めて指導します。
- 生活行為の活性化をはかるために、自分で行うこと、家族に行って頂くこと、訪問介護員に行って頂くこと等を期間や時間帯も含めてプラン化します。

例えば… 公民館や集会所で行っている交流サロンでは
(一般介護予防事業)

- レクリエーションや創作活動、園芸など様々な作業を通してコミュニティーを形成し、健康増進に努めます。
- うまくできない方にはできるように工夫し参加していただきます。
- 交流サロンに要支援の方々も参加できるよう支援します。

- 自宅に閉じこもっている方をお誘いし参加して頂くよう働きかけます。
- 様々な作業を通して、ご自宅の生活で困っていることをお聞きし、その対応策を共に考えます。
- 「地域ケア会議」に参加します!

訪問型サービス・通所型サービスに派遣
(介護予防・生活支援サービス事業)

- 日常生活において生活不活発となっている高齢者に対して運動器の機能向上や生活行為向上の指導等行い、生活の活性化をめざします。
- 訪問型サービスでは、自宅での日常生活の改善や、入浴、買い物、調理などの生活行為と共に、住民主体の活動へ参加を促します。

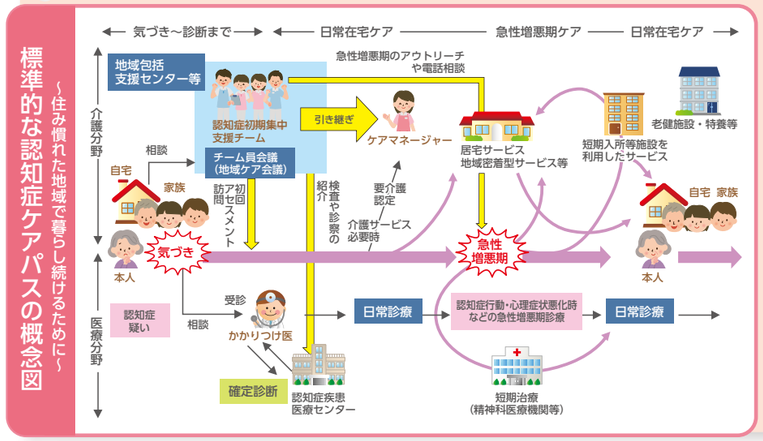
本人の生活行為能力を向上させるための生活行為向上プログラムの考え方

段階付けた練習メニュー

基礎練習	筋力訓練等
基礎動作練習	立ち座り・道具操作練習等
応用練習	入浴・調理・趣味活動等
社会適応練習	在宅での練習・交通機関・趣味の教室等利用

「認知症初期集中支援チーム」では

- チーム員として看護師や保健師さんと共にアウトリーチに加わり、「地域包括ケアシステムにおける認知症総合アセスメント(DASC)」や「zarit介護負担尺度」などを用い、評価を行います。また、未受診の場合は受診に、サービスを未使用の場合はサービスの利用につなげていきます。



- 周辺症状などがある場合は、その対応策を指導します。
- ADL等の日常生活に支障をきたしている場合は、その生活行為を分析し、どの作業ができてどの作業ができていないのか、そのできない作業はなぜできないのかを分析し対応策を具体的に考えます。